

ローラーポジションインジケータ
ROLLER POSITION INDICATOR (HR-H03)
【'08~ LEAD・EX (EBJ-JF19)】

車種専用ハーネスキット
取扱説明書

セット内容

- 専用ハーネス ●PG-110スピード信号変換機 ●PG-110用アルミステー
- マグネット(大)、ドーナツ型テープ x各6 ●エレクトロタップ(赤)
- チェック用LED ●タイラップ(142mm) x10

本製品にはローラーポジションインジケータ本体は含まれません。
別売りの【RPI-110】¥9,800(税込)が必要です。

注意事項

- 本説明書は'11 LEAD (JF19)に対応する内容で記載致しております。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- RPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。
付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での
取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は
一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用
について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

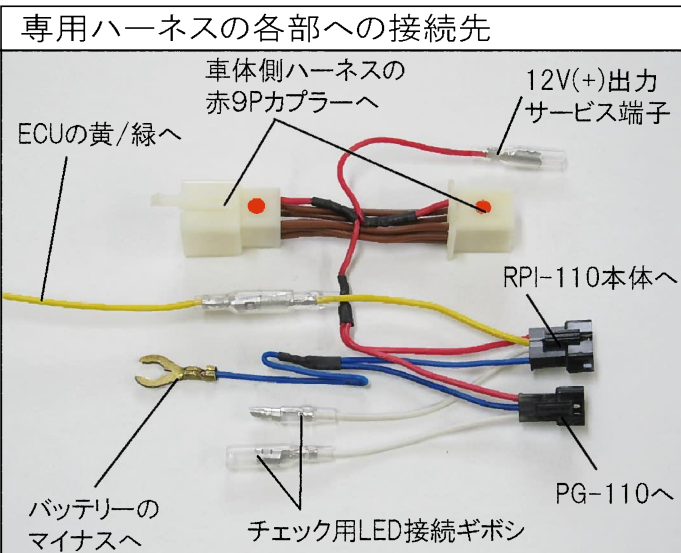
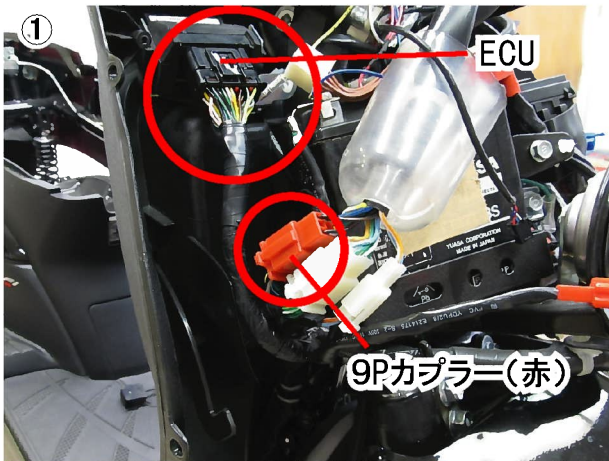
取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

【取り付け作業の準備】

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

- ①フロントカバーを外します。



【専用ハーネスの取り付け】

- ①車体側ハーネスの9Pカプラー(赤)を分割します。
専用ハーネスの9Pカプラーを割り込ませます。
- ②専用ハーネスの青線をバッテリーのマイナス側へ接続します。
- ③専用ハーネスの黄色線をECUの黄/緑線へ
エレクトロタップを使って接続します。

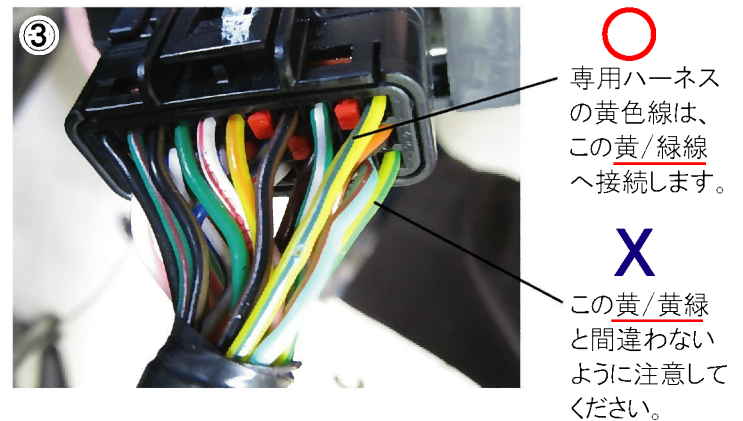
※ECUには黄/黄緑線があります。間違わないように注意して下さい。

※12V(+)
出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の
接続を始め、アクセサリ電源として多目的に活用頂けます。



②専用ハーネス青線を
バッテリーのマイナス
ターミナルへ接続します。

①9Pカプラー(赤)を分割、
専用ハーネス9Pカプラー
を割り込ませます。



○
専用ハーネス
の黄色線は、
この黄/緑線
へ接続します。

X
この黄/黄緑
と間違わない
ように注意して
ください。

【RPI本体の取り付け】

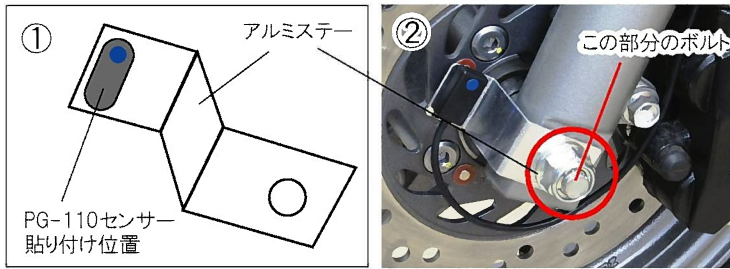
- ①メーター周りのお好みの位置にRPI-110本体を両面テープ
を使って貼り付けます。
※ ハンドルを左右に切った際、専用ハーネスやRPI本体の配線に
無理な力が加わらないよう取り回し、タイラップで固定してください。
※ 後ほどローラーポジション設定 並びに、REVインジケータの
設定を行いますので仮付けにしてください。
- ②RPI-110本体コードをフロントカバー内の専用ハーネスまで通し、
専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。



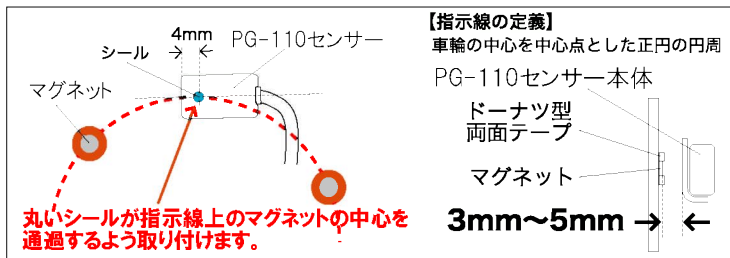
RPI-110本体

【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

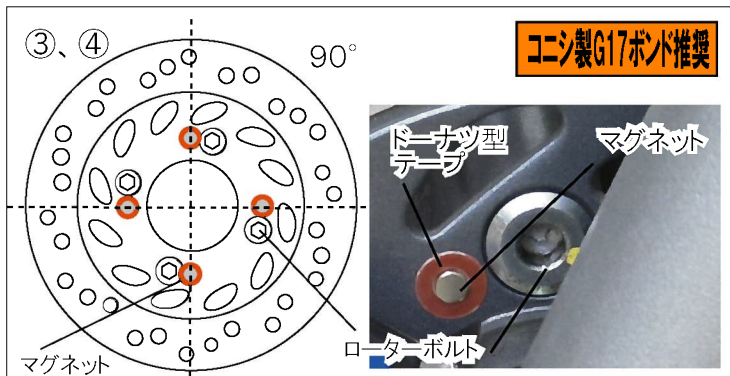
- ①PG-110センサーをアルミスターへ貼り付けます。
- ②PG-110センサー用アルミスターを画像の赤丸で示したアクスルシャフトで共締めします。PG-110センサーとマグネットとの隙間は3～5mmの範囲で調整します。



下の枠内の注意点を参考に
フロントディスクローターにマグネットを4箇所貼付けます。



- ③ドーナツ型のガイドテープを90° 間隔で貼ります。
- ④マグネットを市販の金属用ボンドを使って貼り付けます。
※マグネットは必ずホイール中心部に対し90° になるように等間隔に配置します。ディスクローターボルトが90° 間隔に4つありますので、それを目安にしてください。



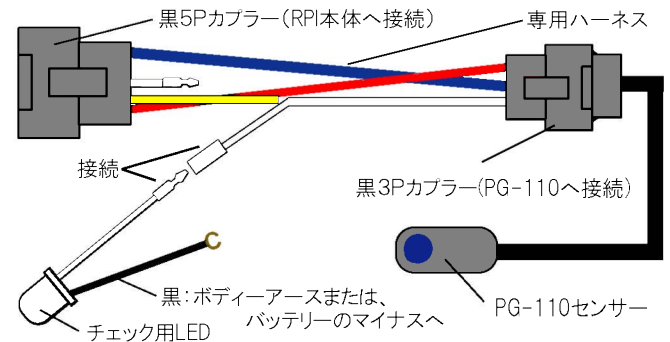
- ⑤PG-110のコードはフロントフォークに沿ってタイラップで縛り、巻き込みやストローク時に引っ張られないように取り回し、専用ハーネスまで通します。
※コードに無理なストレスが加わらないように取り回してください。
- ⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。



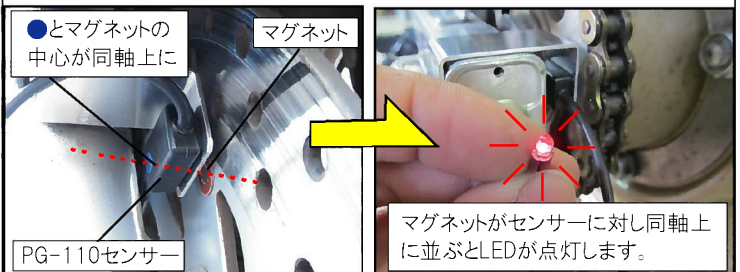
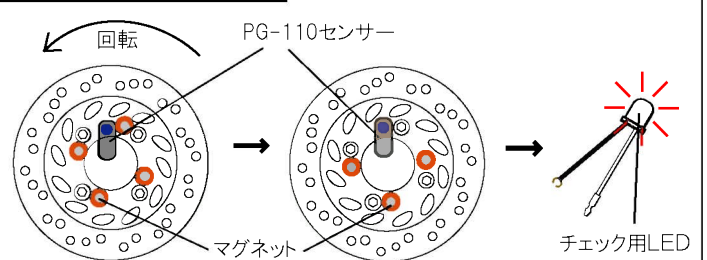
【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

- ①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外します。
チェック用LEDの白線を黒3Pカプラーの白線のメスギボシ側へ接続します。
- ②チェック用LEDのもう一方の線(青または黒)をバッテリーのマイナスへ接続します。
- ③イグニッションキーONにし、フロントホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消える事を全てのマグネットにて確認してください。全て点灯していれば正常です。

PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



チェック用LEDの確認方法



イグニッションキーをONにし、フロントホイールをゆっくりと回転させます。PG-110センサーの青丸シール部分とマグネットを同軸上に合わせるとチェック用のLEDが点灯します。

※12Vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていないので、マグネットを貼り直し再調整してください。

※チェック終了後はチェック用のLEDを外し、必ず専用ハーネス白線のギボシ同士を接続してください。

※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、チェック終了後多目的にご利用頂けます。

■フロントカバー内に専用ハーネス類を収納し、タイラップで縛り、フロントカバーを元に戻して完了です。

ローラーポジション及び、REVインジケータの登録方法や、エラー表示の詳細は、別売りのローラーポジションインジケータ (RPI-110)の取扱説明書をご覧ください